

## 製紙業 A社 (東京都千代田区)

### 会社概要

印刷・情報用紙、板紙、コピー用紙、文房具などの分野で、多様な紙及び板紙製品を提供する世界トップレベルの製紙企業。東京本社のほか国内に支店を配し、従業員数150名のうち、外国人ローカルスタッフは3名だが、中国、インドネシアほか、インド国籍の外国人出向社員が増加傾向にある。

## 海外本社の意向を考慮した 外国人雇用

人事・総務ユニット 総務マネージャー

### 出向者が中心の外国人雇用

A社は、海外アジアに本社を持つグループ企業の日本における販売会社であり、世界トップレベル製紙企業である。海外からの出向社員が大半を占める中、外国人雇用ではどのような取り組みを行っているのだろうか。人事総務ユニットの総務マネージャーに尋ねてみた。

「当社は海外に本社や主要工場がありますので、そちらから出向で来日する外国人スタッフが多数おります。ローカルスタッフもおりますが、当社の外国人スタッフのメインは、出向の外国人社員です。そういう意味では外国人留学生を採用するような一般的な外国人雇用とは異なります。海外から出向社員を受け入れるにあたっては、日本人スタッフやローカルスタッフの正社員としての契約とは異なり、契約社員として雇用しています。これは本社サイドの意向です。海外本社側では契約社員として労働契約を締結することは一般的なのです。当社はこの意向に従い、正社員とは区別しているため、正社員とは違いが生じます。例えば、契約期間の定めはありませんし、賞与の取扱いが異なるほか、福利厚生の対象の違いもあります。そのため、契約社員の外国人の中には正社員を希望する者も少なくありませんが、そうしたときは本社の意向ということを根気よく伝えるようにしています。」

### キャリアパスを示す

「当社の場合は本社で採用し、一定の使命や任務を負って来日することが多いので、当社でそうした外国人スタッフの評価は行っていません。そのため、当社でキャリアパスを求めているようではありません。ただ、そこが外国人スタッフの不安にもなっていることもあるようです。日本にくる外国人は基本的に日本語も話すことができますしとても優秀な人材ですので、日本国内で転職してしまうケースもあります。人にもよりますが、やはり外国人スタッフの主張は激しいですね。わたしたちはなるべく外国人スタッフの話しに耳を傾け不安を払しょくするように努めていますが、海外本社の人事の意向に従いますので正社員へ登用することや特別に処遇するようなことはしません。」

### 短期ビザでの入国対応

「中国台湾は短期滞在の査証が免除されているのでいいのですが、インドネシアや近年増えているインドなどでは、来日する都度、インビテーションレター（招へい理由書）を発行しています。今後は中国やインドネシアの海外本社以外からも来日する外国人が増えてくると思います。出向社員のほか短期滞在も含めて本社の意向でどれくらい増えるかはまだはっきりわかりませんが、コンプライアンスを重視し、外国人スタッフが日本でビザなどの不安を抱かないように管理していきたいと思います。」